



オクソン 倶楽部



2023年 秋号

百年に一度ともいわれる感染症が、世界中を感
染の波に飲み込み四年が経ち今も続いています。
その間世界中の文化が影響を受けてきておりま
す。それは日本文化も例外ではありません。例え
ば茶道の世界では、濃茶の飲み方が変わった
という事も聞きます。さて我々が行う香道は影
響があったのでしょうか？

その話の前に、馴染みの薄いであろう香道に
ついて少し説明をしておきましょう。香道は茶
道・華道とあわせて日本の三大芸道と呼ばれ
ることもあります。その香道では、伽羅をは
じめとする沈香などの世界的にも貴重な香
木の香りを鑑賞し楽しみます。

香道は今から約五百年前の室町時代將軍足
利義政の時代に誕生した伝統芸道の一つで
す。応仁の乱の戦乱や政治を嫌った
八代將軍足利義政は、京都東山の別荘（今
の慈照寺銀閣周辺）に引き籠ってしまいま
す。そこで彼は、自分の友人・知人の一流文
化人を集め趣味の生活を始めます。茶・香
・能・花・連歌など、我々現代人が直接
目にする事ができる日本文化がここで熟成
されていきます。香は後の志野流の祖で義
政の同朋衆志野宗信と、御家流の祖で当時
随一の文化人である私（三條西実隆）の二
人により作法などが作られたとされています。

香道で使用する沈香は、ジンチョウゲ科の
東南アジアにのみ生える木から採れます。こ
の沈香木の幹、枝や葉は香りがしません。こ
の木が外的要因によって傷つき、そこを保護
する為に空気中の細菌等を取り込み樹脂が
形成されます。その後、木自体の寿命等によ
り木が枯れ、地中に埋まらず。その木質部
は土に還りますが、樹脂部分は腐らずに地中
に残り熟成され

ます。その地中に残った樹脂部分を採取する
ことにより沈香が得られます。この形成過程
にはまだ謎も多く、香りが良い物ができ
る理由も良く分かりません。その為、神
秘の香木と言われることもあります。

実際の香道の世界では、この香木をその
香りにより細かく分類して使用します。そ
れを六国と称します。六国はそれぞれ香
りの違いで、伽羅・羅国・真那賀・真
那賀・佐曾良・寸間多羅に分類されま
す。ただその香りは一本の香木の中
でも、香木の場所や香木を焚く環境によ
って様々な香りがします。その香りの良
さ、そして不思議さが古来より人々を魅
了し続けています。

これらの香木を使用して実際の香道の席
（香席）では組香というものをを行います。
現代の香席では、その99%以上にお
いて組香が行われます。組香は簡単に言
うと、数人の人が集まり（人が集まるとい
うから「寄合」とも言われます）、六国
の数種類をそれぞれ香炉で焼き、その順
番を当てるゲームのようなものです。し
かし真の目的はその当たり外れではなく、
貴重な香木の香りを楽しむことにありま
す。

新型コロナウイルス感染症と香道 三條西 堯水

ところが今回の新型コロナウイルス感染症
の流行とその寄合の形が、非常に相性
の悪いこととなります。新型コロナウイルス
感染症の予防として、三密（密閉・密
集・密接）を避け、そして物の共有回
避ということがよく言われてきました。香
席（香道の席）では香炉に一片の香木を
載せ、それを順番に連衆（香席に出席す
る人）が聞いていきます。（香道では香
りを嗅ぐことを聞くといいますが）つ
まり香炉の共有をしなければ香席は始
まりません。

また、香道の伝書には「暑中でも扇を
あらく使ったり、戸を開け放つことは許
されません。香りが飛んでしま

うから当然のことである」とつ
まり密閉空間で行うことが求められて
います。

また香席は通常和室で行われま
す。畳の一面はおよそ1.8mです。つ
まり和室で行う香席では密閉空間で
行わざる負えない状況となります。

このようなことから、香道の会
や稽古は新型コロナウイルス感染症
の流行の始まりからおおよそ3年
間休止せざる負えない状況とな
りました。いまだにその流行が完
全に治まった状況とは言えませ
んが徐々に稽古も再開してきて
います。

大阪の稽古（大阪堯雲会）は、先
代堯雲の時代に始まる伝統ある
会です。平成30年11月よりオク
ソンの久壺庵に会場を変更して、
途中新型コロナウイルス感染症
による休みの期間を経て稽古を再
開しています。愛されてきた香木
の香りを聞いてみたい方は是非足
をお運びください。



三條西 堯水 (本名 公彦)

香道御家流二十三世宗家
実践女子大学客員教授(非常勤講師)
学習院女子大学非常勤講師

1962年3月31日東京生まれ。1985年立教大学法学部卒。
1997年父三條西堯雲の逝去により、香道御家流二十三世
宗家継承。
日本国内各地の稽古場にて実際に稽古を行う一方、国民
文化祭などの国内行事において日本各地で香道の実演を
行う。又アメリカ合衆国・チェコスロバキア・ポルトガ
ル・イタリア・フランスなど海外でも香道の実演を行な
い、日本文化としての香道を紹介している。近年では、
2020年2月にフランス、パリにて香道の実演をする。
2023年5月にG7広島サミットにて各国首脳のパートナ
ープログラムにて香道を披露。NHK大河ドラマ「篤姫」「龍馬
伝」などにおいて香道の演技指導を行う。

香道御家流とは、室町時代の内大臣三條西実隆(1454~1537)を祖とする公家の香道の流派である。
三條西家は、藤原北家閑院流、正親町三條家の庶流で三大匠家の一つである。
正親町三條実隆の次男、公時(1338~1383)が初代となる。